

なごや歴まちびとの会
西園寺公望別邸 ”坐漁荘” (登録有形文化財)
第3回 見学会報告

なごや歴まちびとの会
青木 隆明

1. 開催日時 平成24年10月13日(土)
集合 AM 10:30 解散 PM12:00
2. 開催場所 明治村 内 ”坐漁荘” 保存修理工事
3. 内 容 この建物は駿河湾の興津の海岸に建てられた別荘である。
「坐漁荘」の名には”のんびり坐って魚を釣って過ごす”という意味が込められている。
公望はフランスに10年留学したのち、明治、大正、昭和と平和主義を貫いた政治家である。
政治の第一線から退いたのちにこの別荘を建てたが、事あるごとに政治家の訪問は絶えなかった。
数奇屋風の和風建築であるが、一階の座敷に続けて洋間が増築されていることから、公望が晩年洋風生活に親しんでいたことがうかがえる。庭も当時のままに復元されている。
今回の改修工事は半解体工事を行い、現在は建物の半解体が終わったところを見学する。
4. 参加者数 16名
5. 担当報告

なごや歴まちびとの会の一員でもある魚津社寺工務店の魚津さんのご厚意で明治村内の登録有形文化財である西園寺公望別邸「坐漁荘」の保存修理工事のための解体工事現場を見学させていただきました。当日は、見学日和の晴天に恵まれ、外部、内部共に落ち着いて見ることができました。

初めに魚津さんより、この坐漁荘が駿河湾の興津から明治村へ移築された経緯や移築された当時から現在までの経緯の説明を受け、保存をしていくことの大変さを改めて感じることとなりました。

説明後、足場を上り、屋根の伏せ替えの様子を見せていただきました。登録有形文化財であるが故に、解体する時や解体し終わった時の随時調査があり、工事が止まることが度々あるそうです。修繕方法や内容は、修繕を行う時期に応じて異なり、将来を見据えて適切な対応が必要とのことでした。

屋根の見学後、内部の見学をさせていただきました。過去の改修・耐震工事で用いられた金物や、その当時は最新であったであろう金属製プレート性のもの、FB状のものの使用が確認できました。水平剛性も考えら

れていた様子で、F Bで補強されていました。材料に管理番号付の札が張られ、文化財修復の大変さを窺い知ることができました。

現場見学の機会を作っていただいた魚津さんへ感謝させていただくとともに、今後、歴まちびととしての業務に生かせるよう努力していきたいと思います。



歴まち見学開始前



屋根改修工事



改修工事全景